

## 内装工事業務

### 1 業務内容

#### (1) 各所におけるアスベスト対応工事

- ・アスベストが確認された箇所については、その対応を県と協議すること。
- ・工事においては、関係法令を遵守し必要な報告等を行うこと。

#### (2) タイルカーベットの貼替え

- ・公益財団法人日本防災協会が認定する防災認定品を使用すること。
- ・撤去した既存の床仕上げ材や、新たに床仕上げ施工で発生した端材、梱包材、養生材などは受託者の責において適切な処分を行うこと。

#### (3) 既存間仕切り壁の解体撤去

- ・既存間仕切り壁の解体撤去に伴う照明スイッチや、空調リモコン、アッテネーター等の設備は受託者の業務範囲とし、配線の撤去、照明点滅の盛替え等必要な工事は県との協議を行い対応すること。
- ・既存間仕切り壁の解体撤去に伴う天井等の補修は、コークボンド等による簡易的な処置を施すこと。
- ・解体した間仕切り壁は、受託者の責において適切な処分を行うこと。

#### (4) 間仕切り壁の新設

- ・間仕切り壁を新設する場合は、LGS＋プラスターボード＋ビニルクロス程度とする。
- ・部長室等については、防音性能を確保するため、上記LGS内にグラスウールを設置し、プラスターボードを二重張りとする。

#### (5) 現場管理

- ・本現場の業務遂行に当たり、適正な資格を有するものを配置すること。
- ・受託者は、作業完了後、県に対して工事内容の報告をすること。

### 2 遵守事項

受託者は、次の事項を遵守して本業務を行うこと。

- (1) 本書に基づき撤去する部品については、再利用できるよう取り外し、必要な部品は県の指示に従い保管すること。
- (2) 労働者の労働条件など、関係法令を遵守して作業を行うとともに、法令等で定められた資格を有する作業は、有資格者を確保して実施すること。
- (3) 受託者は、自らの負担で本業務の実施に必要な官公署への届出や許認可等の手続きを行うこと。
- (4) 受託者は、名札、腕章、専用ユニホームを着用し、作業の従事者であることを明らかに認識できるようにすること。

## 添付資料④ 別記 1

- (5) 受託者は、作業に直接関係ない場所にみだりに立ち入らず、行政サービスに支障を与えないよう十分留意すること。
- (6) 受託者は、県が指定する場所でのみ、駐車、休憩及び喫煙を行うこと。

### 3 検査

工事の完了に際しては県の検査を受けるものとし、検査後、引渡書を提出すること。